

PRESS RELEASE



尚絅学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日: 2026 年 7 月 24 日

読み書き・子ども発達支援センター主催 公開講座 研修会開催

「特別な教育的支援を必要とする子どもへの配慮」

本学の読み書き・子ども発達支援センターでは、オンデマンドにて研修会を開催しております。

文部科学省の調査（2022）によると、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、小中学校では8.8%いるといわれています。子どもたちの困難の背景は多様であり、通常の学級中の配慮も様々です。

本研修会では、主に発達に特性のある子どもたちへの学校生活や学習における配慮について、説明いたします。研修会を通して、「子どもたちの困り感に寄り添う配慮」について、考えていきます。

ご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

<オンデマンド研修>

■日時：2026 年 7 月 21 日（火）～9 月 30 日（水）

■内容：多様な子どもへの理解を深めるための具体的な支援方法について、いつでも学べるオンデマンド形式で詳しく解説いたします。

■開催方法：オンデマンド

■受講料：無料

■内容（各 45 分）

1. 漢字読み困難と支援（小池）
2. 行動面に課題のある子どもへの対応（成田）
3. 自閉的傾向をもつ子どもについて（古山）

■主催：尚絅学院大学 総合人間科学研究機構 読み書き・子ども発達支援センター

■共催：塩竈市教育委員会

■お問合せ：尚絅学院大学 教育研究支援課（担当：清野）

Tel：022-381-3501 E-Mail：ksien@shokei.ac.jp

<お問い合わせ先>

尚絅学院大学 教育研究支援課
(大学広報室) 清野 正恵

TEL: 022-381-3501

Email: ksien@shokei.ac.jp

第5回 2026年度 公開講座 研修会

特別な教育的支援を必要とする子どもへの配慮

文部科学省の調査（2022）によると、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、小中学校では8.8%いるといわれています。子どもたちの困難の背景は多様であり、通常の学級の中の配慮も様々です。本研修会では、主に発達に特性のある子どもたちへの学校生活や学習における配慮についてオンデマンドで説明いたします。研修会を通して、「子どもたちの困り感に寄り添う配慮」について、考えていきます。



オンデマンド研修

多様な子どもへの理解を深めるための具体的な支援方法について、いつでも学べるオンデマンド形式で詳しく解説いたします。

日時

2026年7月21日（火）

開催方法

～9月30日（水）

オンデマンド開催

受講料

無 料

内 容（各45分）

- 1.漢字読み困難と支援（小池）
- 2.行動面に課題のある子どもへの対応（成田）
- 3.自閉的傾向をもつ子どもについて（古山）

講師

※講師プロフィールは裏面参照

尚絅学院大学
小池 敏英（客員教授）

尚絅学院大学
古山 貴仁（准教授）

尚絅学院大学
成田 まい（講師）

オンデマンド 視聴申し込み

下記アドレスまたはQRコードより
申込フォームに進み、お申し込みください。
後日、動画視聴URLをお送りいたします。



講師紹介



- 氏名 小池 敏英(こいけ としひで)
■所属 尚綱学院大学(専門:特別支援教育)
■略歴 東北大学(教育学研究科・教育心理学)博士課程修了。東京学芸大学教育学部講師、助教授を経て、2000年より同大学教授。現在は尚綱学院大学客員教授。
■主な研究・活動対象
重症心身障害児のコミュニケーション発達に関する評価と支援に関する研究。知的障害児の読み書き学習の評価と支援に関する研究。学習障害児・学習困難児における読み書きアセスメントと学習支援に関する研究。
■主な著書
『LD児のためのひらがな・漢字支援』(編 あいり出版)
『LDの子の読み書き支援がわかる本』(小池敏英 監修 講談社)
小池敏英・中知華穂・銘苅実土(2017)(監修)東京都教育庁指導部特別支援教育指導課(編集・発行)「読めた」「わかった」「できた」読み書きアセスメント活用&支援マニュアル
小池敏英(2017)(監修)「読めた」「わかった」「できた」読み書きアセスメントDVD(発行者) 東京都教育委員会
『アセスメントと短い説明文の読解支援プリント』(監修 学研) 他多数



- 氏名 古山 貴仁(こやま たかひと)
■所属 尚綱学院大学(専門:特別支援教育)
■略歴 東京学芸大学障害児教育教員養成課程(言語障害)卒業、東北大学(教育学研究科・教育情報アセスメント)博士課程後期3年の課程在学中。筑波大学附属桐が丘特別支援学校教諭、文部科学省在外教育施設派遣教師(オランダ・ロッテルダム日本人学校)を経て、本年度より尚綱学院大学准教授。
■主な研究・活動対象
在外教育施設における特別支援教育の充実、および多言語環境下における読み書き支援に関する研究。肢体不自由児の認知特性に配慮した学習支援に関する研究。
■主な著書
『よく分かる！ 自立活動ハンドブック第1巻 指導すべき課題を導く』(事例報告:ジアース教育新社)
『肢体不自由教育実践 授業力向上シリーズNo.7 新学習指導要領に基づく授業づくり2』(事例報告:ジアース教育新社)
『Handmade Teaching Materials for Students With Disabilities』, Chapter 7「Development of Teaching Materials to Support Learning of Children With Cerebral Palsy in the Japanese Curriculum: Japan School Initiatives」(共著:IGI Global)



- 氏名 成田 まい(なりた まい)
■所属 尚綱学院大学(専門:特別支援教育)
■略歴 東京学芸大学(教育学研究科・発達障害専攻)修士課程修了。市立秋田総合病院、秋田大学医学部附属病院、秋田こどもの心と発達クリニックにて臨床発達心理士として勤務(現職)。2025年度より尚綱学院大学講師。
■主な研究・活動対象
通常学級における読解困難の認知評価とそれに基づく学習支援に関する研究。小児科におけるLD児の読み書き評価と療育効果についての研究。
■主な著書
『読み書きが苦手な子どもの「できた!」を増やす 家庭でできる読み書きサポートブック 小学校中高学年(3~6年生)』(編著 日本標準)
『読み書きが苦手な子どもの「できた!」を増やす 家庭でできる読み書きサポートブック 小学校低学年(1・2年生)』(編著 日本標準)
『イラストでわかる LD・学習困難の子の読み書きサポートガイド:22の事例と支援の実例』(共著 合同出版)
『アセスメントと短い説明文の読解支援プリント』(共著 学研)

尚綱学院大学 読み書き・子ども発達支援センター

本センターは、様々な困難に直面している子どもや家族への支援に関する理論と方法について研究を行うと共に、実際の相談・支援活動を行うことで地域に研究成果を還元することを目的に開設されました。今年度よりセンターの名称を「尚綱学院大学総合人間科学研究機構・読み書き・子ども発達支援センター」へと変更し、新たなスタートを切ることとなりました。

これまで毎年、研究成果に基づいて講座や講演会を実施してまいりましたが、あわせてより一層の研究成果の還元と直接的な支援の実現を目指し、小・中学校や支援学校へのICTを活用したリモート支援をセンターに取り組んでおります。「誰一人取り残さない世の中」の実現を目指し活動しています。

センター長 佐藤 功一(心理・教育学群 学校教育学類 教授)

【尚綱学院大学読み書き・子ども発達支援センターへのお問合せ・支援依頼・相談】

尚綱学院大学 教育研究支援課(担当:清野)

Tel : 022-381-3501 E-Mail : ksien@shokei.ac.jp